

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2016-221037(P2016-221037A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2015-111415(P2015-111415)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月2日(2018.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のリールと、

スタートスイッチと、

所定の上限数を限度に遊技価値の貯留数を電気的に記憶可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留されている遊技価値の貯留数を表示可能な情報表示部と、

前記スタートスイッチが操作されたことに基づき内部抽せんを行う内部抽せん手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と

を備え、

前記情報表示部において遊技価値の貯留数を1加算表示するために要する貯留数表示加算時間と、

1回の遊技で獲得可能な設計上最大の遊技価値数である最大払枚数と、

前記スタートスイッチが操作されてから前記複数のリールがすべて停止するまでの設計上最短の遊技時間である最短遊技時間が、

前記最大払枚数の遊技価値を加算表示するために要する貯留数表示加算時間の合計が、前記最短遊技時間を超えていることを満たしている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本態様に係る遊技機は、

複数のリールと、

スタートスイッチと、

所定の上限数を限度に遊技価値の貯留数を電気的に記憶可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留されている遊技価値の貯留数を表示可能な情報表示部と、

前記スタートスイッチが操作されたことに基づき内部抽せんを行う内部抽せん手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と

を備え、

前記情報表示部において遊技価値の貯留数を1加算表示するために要する貯留数表示加算時間と、

1回の遊技で獲得可能な設計上最大の遊技価値数である最大払出枚数と、

前記スタートスイッチが操作されてから前記複数のリールがすべて停止するまでの設計上最短の遊技時間である最短遊技時間とが、

前記最大払出枚数の遊技価値を加算表示するために要する貯留数表示加算時間の合計が、前記最短遊技時間を超えていることを満たしている

ことを特徴とする遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

遊技進行を制御する主制御基板（例えば、主制御基板M）と、

主制御基板と通信可能に接続された補助制御基板（例えば、払出制御基板H）とを備え、認証データを記憶した認証用媒体（例えば、セキュリティドングルDG）が補助制御基板（例えば、払出制御基板H）に設けられた回胴式遊技機であって、

補助制御基板（例えば、払出制御基板H）は、

駆動用の電源電圧の供給を受けて所定の初期設定を行い、

前記所定の初期設定を行った後で、前記認証用媒体（例えば、セキュリティドングルDG）から前記認証データを読み出し、

前記認証用媒体（例えば、セキュリティドングルDG）から読み出した前記認証データに基づく認証結果を取得し、

主制御基板（例えば、主制御基板M）は、

駆動用の電源電圧の供給を受けて特定の初期設定を行い、

前記特定の初期設定を行った後で、特定の内部確認処理を実行し、

前記特定の内部確認処理を実行した後、前記認証結果に係る情報の確認を行う確認待ち処理を実行し、

前記確認待ち処理の実行時において、前記認証結果に係る情報に基づく特定の認証正当条件を充足したときには、正常時処理を実行可能とし、

前記正常時処理を実行した後、遊技の用に供する遊技価値を遊技者の入力操作に基づき管理し、

一遊技に必要な遊技価値が入力された後、遊技者の遊技開始操作に基づいて当該遊技での遊技結果に影響する役の抽選処理を実行し、

回胴が予め定められた一定の速度で回転するようになった後、遊技者の回胴停止操作に基づいて当該遊技での遊技結果を回胴に表示させ、

すべての回胴に当該遊技での遊技結果が表示されたとき、表示されている遊技結果に基づいて遊技価値の付与を行い、

前記確認待ち処理の実行前において駆動用の電源電圧の供給が停止した場合であっても、前記認証結果に係る情報の確認を複数回行うことが可能であることを特徴とする回胴式遊技機である。

また、本態様に係る遊技機は、

遊技進行を制御する主制御基板（例えば、主制御基板M）を備え、認証データを記憶した認証用媒体（例えば、セキュリティドングルDG）が主制御基板（例えば、主制御基板M）に設けられた回胴式遊技機であって、

主制御基板（例えば、主制御基板M）は、

駆動用の電源電圧の供給を受けて特定の初期設定を行い、

前記特定の初期設定を行った後で、特定の内部確認処理を実行し、

前記特定の内部確認処理を実行した後で、前記認証用媒体（例えば、セキュリティドングルDG）から前記認証データを読み出し、

前記認証用媒体（例えば、セキュリティドングルD G）から前記認証データを読み出した後、前記認証データに基づく認証結果に係る情報の確認を行う確認待ち処理を実行し、

前記確認待ち処理の実行時において、前記認証結果に係る情報に基づく特定の認証正当条件を充足したときには、正常時処理を実行可能とし、

前記正常時処理を実行した後、遊技の用に供する遊技価値を遊技者の入力操作に基づき管理し、

一遊技に必要な遊技価値が入力された後、遊技者の遊技開始操作に基づいて当該遊技での遊技結果に影響する役の抽選処理を実行し、

回胴が予め定められた一定の速度で回転するようになった後、遊技者の回胴停止操作に基づいて当該遊技での遊技結果を回胴に表示させ、

すべての回胴に当該遊技での遊技結果が表示されたとき、表示されている遊技結果に基づいて遊技価値の付与を行い、

前記確認待ち処理の実行前において駆動用の電源電圧の供給が停止した場合であっても、前記認証結果に係る情報の確認を複数回行うことが可能である

ことを特徴とする回胴式遊技機であってもよい。